

多胎妊娠の疫学的研究

班 員

倉 智 敬 一 (大阪大学産婦人科)

青 野 敏 博 (大阪大学産婦人科)

田 坂 慶 一 (大阪大学産婦人科)

一般に誘発排卵による妊娠は自然排卵妊娠に比べて流産率や奇形率が高いといわれているが、これに関して全国的レベルでの調査はほとんどなかった。今回我々は比較的多くの症例について各種誘発剤による誘発排卵後の妊娠例における流産率、多胎率、奇形率を調査し、自然排卵妊娠との比較を行なったので報告する。

対象と方法

対象は、HMG—HCG 治療については過去5年間に妊娠した523例、clomiphene 治療に関しては過去5年間に妊娠した1,034例、bromocriptine に関しては過去1年間に妊娠した89例について調査し、過去2年間の自然排卵妊娠4,121例を対照とし、流産率、多胎率、奇形率を比較した。各療法別の患者の平均年齢は、28.5～30.0歳に分布した(表1)。

結 果

各治療法別の流産率は、HMG—HCG 妊娠22.0%、clomiphene 妊娠13.8%、bromocriptine 妊娠10.1%、対照とした自然排卵妊娠10.7%であった。この結果HMG—HCG 妊娠にのみ有意に高い流産率が認められ、clomiphene 妊娠、bromocriptine 妊娠では自然排卵妊娠と有意差を認めなかった。各種誘発排卵妊娠の転帰を調査した結果ではHMG—HCG 妊娠では22.0%が流産におわり9.9%が早産で、正期産に至った例は64.8%であった。clomiphene 妊娠では流産13.8%、早産5.9%、正期産80.0%であった。bromocriptine 妊娠では流産10.1%、早産5.6%、正期産83.1%であった。これらの結果よりHMG—HCG による妊娠例は、流早産が多く正期産に至る率が低いことがわかった(図1)。

次に各種誘発排卵における多胎妊娠の頻度と外表奇形の頻度を調べた結果では、多胎率はHMG—HCG 妊娠で20.5%、clomiphene 妊娠で4.0%、bromocriptine による多胎例はいずれも clomiphene や HMG—

HCG を併用したもので単独療法での多胎はなかった。また各種誘発排卵妊娠の奇形の頻度は1.7～2.2%で各群とも対照の1.7%と有意差を認めなかった(表2)。HMG—HCG 妊娠において月経異常の程度と流産の関係調べた結果では、各種別流産率は第2度無月経の18.7%から稀発月経の28.6%と4群の間に有意差はなかった(図2)。

HMG—HCG 妊娠では多胎率が高いことがわかってはいるが、胎児数と流産率について調べた結果では、単胎の12.5%に比し、双胎の13.5%は殆んど変わらないが、品胎では40.0%、4胎以上では28.6%と上昇していることから品胎以上に流産率の高いことが示された(図3)。

ま と め

以上の成績は次の3つの結論にまとめることができる。

- 1) 各種誘発排卵妊娠のうちHMG—HCG妊娠において流産率が高い。
- 2) 胎児数が多いほど流産率が高い。
- 3) 各種誘発排卵妊娠における奇形率は自然排卵妊娠と較べて高くはない。

排卵誘発時に多胎妊娠を防ぐことは流産を少なくするという意味においても重要であることがわかった。

参考文献

- 1) 倉智敬一, 他:産と婦, 47:1146, 1980.
- 2) 大浦敏明:産婦進歩, 23:434, 1971.
- 3) 倉智敬一, 他:日本妊会誌, 27:454, 1982.
- 4) 倉智敬一, 他:産と婦, 50:126, 1983.

表 1

Induced ovulation and abortion rate

Treatment	HMG-HCG	Clomiphene citrate	Bromocriptine	None
Year of survey	1975-79	1976-80	1979	1978-79
Mean age of mothers	28.7	28.6	30.0	28.5
No. of pregnancy	523	1034	89	4121
Spontaneous abortion (%)	115 (22.0)	143 (13.8)	9 (10.1)	441 (10.7)

图 1

Induced ovulation and outcome of pregnancy

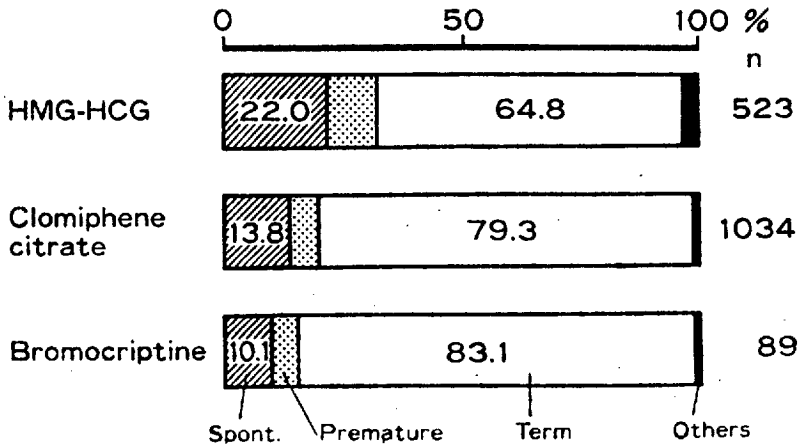


表2

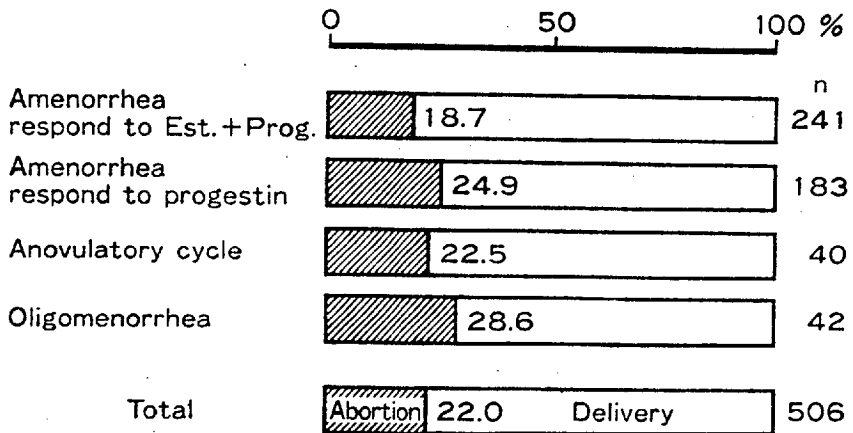
Rates of spontaneous abortion and other etiologic factors

Treatment	(%)			
	HMG-HCG	Clomipheñe citrate	Bromocriptine	None
Abortion	22.0	13.8	10.1	10.7
Multiple pregnancy	20.5	4.0	2.3*	1.0
External deformity of newborns	1.7	2.2	2.2	1.7

* All cases were treated with bromocriptine and either clomiphene citrate or HMG-HCG

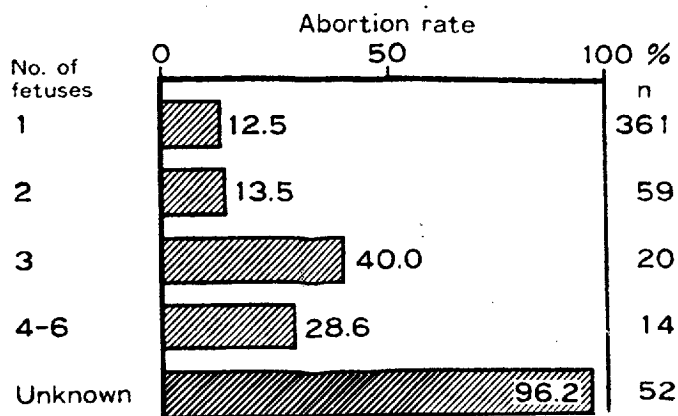
图2

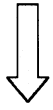
Menstrual disorders and abortion rate in pregnancy after HMG-HCG treatment



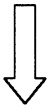
☒3

Relationship between number of fetuses and abortion rate in HMG-HCG treatment





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



まとめ

以上の成績は次の3つの結論にまとめることができる。

- 1)各種誘発排卵妊娠のうち HMG - HCG 妊娠において流産率が高い。
- 2)胎児数が多いほど流産率が高い。
- 3)各種誘発排卵妊娠における奇形率は自然排卵妊娠と較べて高くはない。

排卵誘発時に多胎妊娠を防ぐことは流産を少なくするという意味においても重要であることがわかった。